

障害のある子どもなどへの支援



広島市乳幼児教育保育支援センター

はじめに

障害のある子どもなどへの就学前の支援は、幼稚園、保育園、認定こども園などで行われており、一人一人に応じた指導などの点において乳幼児の教育・保育との親和性が高いとされています。

一人一人が無理なく自然な流れで園生活を送るためには、子どもの生活や発達を見通し、園長のリーダーシップの下、育てたい力などについて職員間で話し合い、それを共有することが必要です。

また、障害のある子どもなどが他の子どもと安心して過ごすことができるよう、園では必要かつ適切な変更・調整を行い、保育環境を豊かにしていく保育における合理的配慮が大切となります。

さらに、乳幼児期の特性を踏まえて、きめ細かに対応することで、将来にわたる生きる力の基礎を培い、子どもの成長を支えることができます。加えて、障害のある子どもなどだけでなく、周りの子どもも共に過ごす中で、子ども同士の豊かな関係性が育ち、他者を尊重する大切さを学ぶことができます。

こうしたことから、障害のある子どもなどを始めとする園児の心身の発達を支えるため、幼児教育・保育施設の機能を十分に生かした受入体制や支援体制等について「乳幼児教育保育の質の向上に関する懇談会」において、学識経験者、各団体の代表から意見を聴取し、資料にまとめました。子どもの成長を支えるために、子どもの教育・保育のニーズに応じた園の支援体制の構築や、園で行ってきた支援を小学校等へつなぐ取組に御活用ください。

令和6年（2024年）

広島市乳幼児教育保育支援センター

障害のある子どもなどの受入れから小学校等への接続まで

入園

1 受入時に必要な園の対応 (P2)

チェックリスト1 (P3)

受入時における
配慮事項 (P4)

園生活 (初めの頃)

2(1)園生活に関する園の対応 (初めの頃) (P5)

園生活 (慣れた頃)

2(2)園生活に関する園の対応 (慣れた頃) (P6)

就学前

3 接続期における園の対応 (P7)

チェックリスト2 (P8)

引継ぎ

就学先との連絡会

就学先へ「要録」送付

小学校等への入学

1 受入時

○ 受入時に必要な園の対応

| 子ども・保護者への支援 | 園の環境整備等 | その他 |
|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> 「子ども・家庭の状況確認チェックリスト」(P3)を活用し、保護者に聴き取りをする。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">チェックリスト1</div> | <input type="checkbox"/> 「受入時における配慮事項」(P4)を参考に、子どもに必要な配慮事項や準備等について確認する。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">受入時における配慮事項</div> <input type="checkbox"/> 受入れに当たっての基本的な考え方や配慮事項について共通理解を図る。 <input type="checkbox"/> 子どもが気持ちを安定させ、安心して過ごすことができる空間を確保する。 <input type="checkbox"/> 子どもの特性や発達の過程に応じ、発達の課題に即した支援を行う。 | <input type="checkbox"/> 認定こども園等の特別な支援員、保育園等の加配保育士制度などについて <small>【問合せ先】</small> <small>各区役所福祉課児童福祉係</small> |

【参照】
 発達障害のある方と家族のための広島市リソースブック（広島市 HP）
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/128876.pdf>

障害のある子どもなどに関する相談など（広島市 HP）
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/115644.pdf>

保育園・幼稚園等に関すること（広島市 HP）
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/115647.pdf>

サポートファイルに関すること（広島市 HP）
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/115646.pdf>

※ サポートファイルは、保護者が子どもとの日々の関わりや病院、福祉施設、保育園、学校等で受けた支援内容などを書き綴り、「記録・保管」する広島県内統一のファイル形式の記録ノートです。

各区役所福祉課児童福祉係（広島市 HP）
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/84/110586.html>

受入時における配慮事項



| ✓ | 項目 | 内容 | その他 | |
|---|----------------------|--|--|--------------------------------------|
| □ | 手続き | <ul style="list-style-type: none"> • 入園願等必要な書類の記入 • 子ども・家庭の状況の聴き取り | ※ 徐々に園に慣れていくことが必要な場合は、保護者と一緒に園内で過ごすことや迎えの時間調整について相談する。 | |
| □ | 職員紹介 | <ul style="list-style-type: none"> • 「園のしおり」、「要覧」等で職員構成について説明 • 園長、担任など主に関わる職員と面談 | | |
| □ | 園の連絡先 | <ul style="list-style-type: none"> • 「園のしおり」に沿って説明 | | |
| □ | 遅刻、欠席等の連絡 | <ul style="list-style-type: none"> • 「園のしおり」に沿って説明 • 療育等で欠席や遅刻する曜日を確認 | | |
| □ | 登園時の持ち物 園に置いておくもの | <ul style="list-style-type: none"> • 「園のしおり」に沿って説明 • 日々持参する持ち物 • 必要な用品の購入の申込受付 • 支援に必要な用具、手荷物等 | | |
| □ | 主な行事 園生活 | <ul style="list-style-type: none"> • 「園のしおり」に沿って説明 • 子どもの実態に合わせた行事等の参加の仕方について保護者と相談 | | |
| □ | 諸費用 | <ul style="list-style-type: none"> • 「園のしおり」に沿って説明 | | |
| □ | 緊急時の連絡メール | <ul style="list-style-type: none"> • 連絡用一斉メールについて説明 • メール登録の手順を説明 | | |
| □ | 個人情報 | <ul style="list-style-type: none"> • 「園のしおり」に沿って説明 • 通院やサービスを受けている場合、支援の経過等について関係機関と園が連携することを確認 | | ※ 食事や排せつ等、生活面の介助の状況について、家庭での様子を確認する。 |
| □ | 園舎 保育室 | <ul style="list-style-type: none"> • 保育室、トイレ等で移動や使用が困難な場所はないかを確認 | | |
| □ | 感染症の対応 | <ul style="list-style-type: none"> • 「園のしおり」に沿って説明 • 園内での感染症流行時の対応 | | |
| □ | アレルギー対応 | <ul style="list-style-type: none"> • 対応の有無 • 必要書類の記入 • 給食の除去等アレルギー対応の面談 | ※ アレルギー対応が必要な場合は、必要な提出書類の説明と面談を行う。 | |
| □ | 保護者会 | <ul style="list-style-type: none"> • 保護者会について説明 • 保護者会の活動内容 | | |

その他に配慮することの例

- 手洗い場やトイレなど必要に応じてステップや手すりを用意する。
- 自発的に生活ができるよう、靴箱、ロッカー、机等は子どもが使いやすい位置にする。手掛かり（絵、マーク、写真等）を準備するなど環境を整える。
- 好きな遊具等を尋ね、保育室に準備する。
- 情緒が不安定になる場合等、保育室の一部等を利用した気持ちが落ち着くスペースを設置する。

※ 保護者や子どもと意思疎通を図る際に必要な配慮事項や準備等について整理しています。各園での受入れの際に御活用ください。

2 園生活

(1) 園生活に関する園の対応（初めの頃）

| 子どもへの支援 | 保護者への支援 | 園の環境整備等 | その他 |
|--|---|---|---|
| <p>□ 表情から気持ちや思いやその子らしさを受け止めて関わる。</p> <p>□ 子どもが気持ちを安定させ、安心して過ごすことができるよう生活や遊びの環境を整える。</p> <p>□ 身近な保育者に親しみをもって関わるができるよう、一緒に遊んだり語りかけたりしていく。</p> <p>□ 食事、排せつ、衣服の着脱など園における生活の仕方を知り、自分でできるように支えていく。</p> <p>□ 気に入った遊びを通して、周囲の友達存在に気づき、関心をもつようにする。</p> <p>□ 理解してくれる保育者や周りの子どもを通して、他者へ信頼を育む。</p> | <p>□ 保護者に子どもが楽しんでいること、戸惑っていることについて聴き取る。</p> <p>□ 園や周りの人に慣れていく様子、身の回りのことを自分でしようとする様子など日々の姿について知らせ、共有する。</p> <p>□ 対話しやすい雰囲気をつくり、日々の子育ての不安や悩み等を丁寧に受止めていく。</p> <p>□ 子どもが困っている場面については、保護者に園での様子を知らせるとともに、家庭での過ごし方を参考にしながら園での支援の方法や環境を改善していく。</p> | <p>□ 周りの子どもも一人一人がかけがえのない存在であることを感じ取れるよう、保育者は障害のある子どもなどの思いやその子らしさを丁寧に受け止めて関わる。</p> <p>□ 子どもの心身の発達を支える保育者の基本的な姿勢について園内で共通理解を図る。</p> <p>□ 園全体の協力体制をつくるため、園長、コーディネーターを中心として園内研修やケース会議等を行う。</p> <p>□ 障害のある子どもなどの在園時間に沿って加配の職員を配置するが、担任や担当する保育者と障害のある子どもなどだけの関わりとならないように職員間で連携を図りながら関わる。</p> <p>□ 子どもに応じた支援、適切な手立てを反映させた個別の支援計画を作成する。</p> | <p>※ 子どもの得意なことや苦手なこと、できることとできないことなどを客観的に捉え、必要な支援を検討し、個別の指導計画に反映させていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>捉える視点の例</p> <p>【子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得意なこと ・苦手なこと ・好きなこと ・嫌いなこと ・他者への関心 ・保育者との関わり ・環境との関わり ・生活習慣 ・困っている場面 ・情緒 ・体の動き ・言葉などの発達 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の心情 ・愛着関係 ・不安や悩み </div> |

参考資料

障害のある幼児と共に育つ生活の理解と指導（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/1341233_00002.htm

(2) 園生活に関する園の対応（慣れた頃）

| 子どもへの支援 | 保護者への支援 | 園の環境整備等 | その他 |
|--|--|--|---|
| <p>□ 気に入った遊びを十分に楽しめる時間と場所を確保し、満足感を味わえるようにする。</p> <p>□ 子どもの素敵なところ、得意なことを生活や遊びに取り入れ、周りの子どもから認められる経験を積み重ねられるようにする。</p> <p>□ 周囲の友達に関心をもっている時には、様子を見守りながら、必要に応じて仲立ちとなり、関わりに必要な言葉やしぐさを知らせていく。</p> <p>□ 遊びを進める際には、その子どもの力を発揮できる場面を周囲の友達と一緒に考えていく。</p> | <p>□ 子どもの成長や変化を保護者と共に喜び、保護者が困った時、相談したい時に安心して話すことができるような雰囲気をつくる。</p> <p>□ 得意なことを発揮できた場面など具体的なエピソードを通して成長や心情の変化を共有する。</p> <p>□ 周囲の友達に関わる様子や関心をもっている様子、周囲と気持ちを通じ合わせていく経過を知らせていく。</p> <p>□ 行事やクラス活動にその子なりに参加しようとしている様子や成長、その子らしさを発揮した場面等について日々知らせていく。また、苦手な場面や場所が生じた場合は、どのような援助がよいのか保護者と話し合っていく。</p> | <p>□ 子どもの発達のための視点ではなく、愛着関係や経験不足等、多面的な視点から子どもの実態を把握する。</p> <p>□ 周りの友達が障害のある子どもなどと共に過ごすことを通して生活が豊かになることができるよう、温かい人間関係づくりに努める。</p> <p>□ 特定の保育者や子どもに対応を任せる状況にならないようにコーディネーターを中心とした体制を整備する。また、他の保育者と情報共有し、協力して指導する。</p> <p>□ 子どものよさや得意なこと、気になる姿など職員間で共通理解を図る。</p> <p>□ 支援の見直しや改善のため、検討や巡回相談などの利用により、子ども理解を深める。</p> <p>□ 専門的な知識、手立てを行うための研修の時間を確保する。</p> | <p>□ 乳幼児教育保育アドバイザーの派遣</p> <p>【問合せ先】 広島市乳幼児教育保育支援センター 電話：082-504-2833</p> <p>□ 障害児等療育支援事業、施設支援一般支援事業の相談</p> <p>※ 訪問にあたっては、個人情報保護法に基づき保護者の了承が必要です。</p> <p>【問合せ先】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>中区、東区、南区、安芸区、安佐南区（祇園地区）</p> </div> <p>広島市こども療育センター 地域支援室 電話：082-263-0683</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>安佐南区（祇園・沼田地区以外）、安佐北区</p> </div> <p>広島市北部こども療育センター 療育相談室 電話：082-814-5801</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>西区、佐伯区、安佐南区（沼田地区）</p> </div> <p>広島市西部こども療育センター 療育相談室 電話 082-943-6831</p> <p>※ 令和6年4月から、こども療育センターの児童発達支援センターは地域の中核的な役割となるため、福祉型、医療型が一元化されます。</p> |

3 就学先の小学校等への接続

○ 接続期における園の対応

| 子どもへの支援 | 保護者への支援 | 園の環境整備等 | その他 |
|---|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> □ よさや得意なことを通して、子どもが周囲から認められる経験を積み重ねられるようにする。 □ 就学先の小学校等との交流などを通して、小学校の様子を見たり、雰囲気を感じたりする経験をもつことができるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> □ 保護者の意向、就学先を確認する。 □ 就学相談の申込みについて案内する。 □ 各小学校で入学前に行われる就学時健康診断の際に学校に相談できることについて情報提供する。 | <ul style="list-style-type: none"> □ 保護者の就学先の意向を把握し、相談先と連携する。 □ 就学先と連絡を取り、施設、学校の見学や面談、相談等、保護者と施設、学校をつなぐ機会を提供する。 □ 施設・設備の整備が必要と思われる場合は小学校等と早めに相談しておく。 □ 就学先と連携し、子どものよさ、得意なこと、成長、園での支援の経過、必要な支援、保護者との関わり等の情報を共有する。 □ 就学先と話す機会を確保し、園が作成した引継書類をもとに、子どもの状況について説明する。 □ 可能な範囲で就学先の教職員に、子どもの園生活の様子を実際に観てもらう。 | <ul style="list-style-type: none"> □ 就学の相談（特別支援学校、小学校特別支援学級を検討する場合） <ul style="list-style-type: none"> 【問合せ先】 広島市青少年総合相談センター 電話：082-264-0422 □ 専門家への相談・指導 <ul style="list-style-type: none"> 【問合せ先】 ○ 乳幼児教育保育アドバイザーの活用 広島市乳幼児教育保育支援センター （連絡先：P6） ○ 巡回相談指導の活用 広島市教育委員会事務局学校教育部特別支援教育課 電話：082-504-2494 ○ 施設支援一般事業の活用 （連絡先：P6） 広島市こども療育センター 地域支援室 広島市北部こども療育センター 療育相談室 広島市西部こども療育センター 療育相談室 □ 小学校側は園の聴き取り時に「幼保小連携シート」を利用 <ul style="list-style-type: none"> 【問合せ先】 広島市教育委員会事務局学校教育部生徒指導課 電話：082-504-2786 □ 引継ぎの際には、小学校の職員間で意識の差異がないよう、校長、特別支援学級や通常の学級の複数の教職員で情報共有してもらい、一貫した支援につなげる。 □ 市内の小学校の特別支援学級又は特別支援学校で学ぶ際に、保護者が負担する教育関係経費について、家庭の経済状況等に応じて援助 |
| <ul style="list-style-type: none"> □ 「就学先の小学校等へつなぐ支援チェックリスト」を活用し、小学校へつなぐ | <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> チェックリスト2 </div> | | |



就学先の小学校等へつなぐ支援チェックリスト

伝達日(年 月 日)

| ✓ | 項目 | 内容 | その他 |
|--------------------------|-------------------|--|--|
| <input type="checkbox"/> | 名前と呼称 | ・本名 ・家庭での呼び名 | <p>※ 就学先での聴き取りに係る保護者の負担を軽減するため、関係機関とつながっている場合は、保護者の了承を得て小学校と情報共有する。</p> <p>※ 園での子どもの育ちと支援の経過について小学校と情報共有し、支援をつなぐ。</p> <p>※ 就学先で子どもの可能性を最大限伸ばすことができるよう、<u>子どものよさや得意なこと、好きなこと、等、大切にしてきた視点やその子らしさを情報共有する。</u></p> |
| <input type="checkbox"/> | 生年月日 | ・生年月日 | |
| <input type="checkbox"/> | 保護者、家族構成 | ・一緒に住んでいる家族の構成 ・兄弟姉妹の年齢 | |
| <input type="checkbox"/> | 保護者の願い | ・就学に向けての期待 ・子ども同士の交流等 | |
| <input type="checkbox"/> | 教育・保育の期間 療育の状況 | ・療育機関 ・担当者 ・在籍期間 ・療育の内容 | |
| <input type="checkbox"/> | 児童発達支援の利用 | ・利用の有無 ・内容、回数 ・機関名、担当者 | |
| <input type="checkbox"/> | 診断 | ・時期 ・医師名 ・病院 ・診断名 | |
| <input type="checkbox"/> | 手帳 | ・有無 ・種類、等級、更新日 | |
| <input type="checkbox"/> | 生活面 | ・食事、排せつ、着脱、移動等の介助 ・発作等の状況、対応 | |
| <input type="checkbox"/> | 健康・運動面 | ・慢性的な病気、アレルギー等の有無 ・常備・常用薬（薬品名、服用量、回数） ・食事や運動の制限 ・生活リズム | |
| <input type="checkbox"/> | 言語面 | ・言葉の理解、発話の状況 ・保育者の指示の理解 ・指示等を理解しやすくするためのツール ・友達との会話の成立の有無 | |
| <input type="checkbox"/> | 情緒面 | ・不安定の有無 ・気持ちが落ち着く環境 ・気持ちの切り替え方 ・環境等の変化への対応 | |
| <input type="checkbox"/> | 社会性 | ・他者への関心の有無 ・気の合う友達、サポートしてくれる友達 ・集団への参加 | |
| <input type="checkbox"/> | 保護者に関すること | ・気の合う保護者 ・協力が得られる人の有無 | |
| <input type="checkbox"/> | 子どもの育ち | ・園での育ちや支援の経過 ・子どもの良さ、得意なこと、興味や関心 | |

就学先の小学校等へつなぐ際に情報共有が必要な項目を整理しています。園で作成した指導要録、保育要録等と合わせて、以上の項目について小学校等と情報共有しましょう。

- 就学までの流れについて（広島市 HP）
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/115649.pdf>
- 広島市の特別支援学級・通級指導教室の設置状況（広島市 HP）
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/education/16211.html>
- 障害のある子供の教育支援の手引（文部科学省）
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250_00004.htm

個別の支援計画

クラス _____ 担任 _____ 記入年月日(年 月 日)

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|------|-----------------|-------|--------------------------|----|----------------------------|------------------|----------|
| 氏名 | | 男・女 | 平成 令和 年 月 日生 | 診断名 | | 手帳 | 種類(特児・身体・療育) 級 取得年月日() | 障害児 加配 認定日 | 令和 年 月 日 |
| 家族構成 | | 特記事項 | | 他機関連携 | | | | | |
| <前期4月～9月> 子どもの姿 (月 日記載) | | | | | <後期10月～3月>子どもの姿 (月 日記載) | | | | |
| 支 援 目 標 | | | | | 支 援 目 標 | | | | |
| 保育者の関わり(具体的な支援内容・環境等) | | | | | 保育者の関わり(具体的な支援内容・環境等) | | | | |
| 保護者との連携 | | | | | 保護者との連携 | | | | |
| 園の支援体制 | | | | | 園の支援体制 | | | | |
| 前期の支援で変わった姿と課題 | | | | | 後期の支援で変わった姿と課題 | | | | |

※ 園の教育課程や指導計画を踏まえて、個に応じた支援目標や支援内容、方法を考え、計画的、組織的に行うために作成する計画です。一貫した支援のために、就学先の小学校などと情報共有しましょう。